

# 令和4年度第1回愛知県環境教育等推進協議会会議録

## 1 日時

令和4年9月12日（月）午後2時から午後3時45分まで

## 2 場所

愛知県三の丸庁舎 地下1階 B101 会議室

## 3 出席者

委員13名（うちオンライン出席3名）

## 4 傍聴人

なし

## 5 会議の概要

### （1）開会

### （2）議事

ア 愛知県環境学習等行動計画2030の推進について

（ア）各主体の環境学習等に関する取組状況について

（イ）代表的な事業に対する定性的評価について

千頭会長から資料1について紹介。

事務局から資料2～4について説明。

イ 愛知県環境学習等行動計画2030のアンケートについて

事務局から資料5について説明。

ウ その他

特になし。

## 【質疑応答・要旨】

ア 愛知県環境学習等行動計画2030の推進について

（新海委員）

資料2の14ページ、五つの力の二重丸と丸の数や、SDGsの目標ごとの事業数について、近年の推移を知りたい。

また、各事業の課題は各事業で解決していけばいいが、この計画の良い点は、世代間の連携・協働を進めるところであり、未就学児からコーディネーター事業の対象である大人まで参加している5事業を横串で繋ぐことは課題ではないのか。各事業を繋いでみると、愛知県として次に何が必要なのかが見えてくるのではないかと思う。現計画での強み、弱み、抜けている点、伸ばしていく

部分がどこかを議論していく必要があると思う。

また、気候変動の教育が強化されていないように見える。愛知県として脱炭素社会実現に向けての教育をどのように強化していくのか。

(早川委員)

もりの学舎ようちえんからステップアップしていくと良いという話だが、県の環境学習を継続的に受けている方がいるかどうかの調査はしているのか。

(事務局)

五つの力の二重丸と丸の数やSDGsの目標ごとの事業数は、この数年では、ほぼ変動はないと思われる。

県の5事業に個人が継続して参加しているかという追跡調査はしていない。

代表的な5事業を含め、各事業で連携できる部分は連携し、事業を実施していきたい。

現在、地球温暖化防止戦略の見直しが行われており、気候変動に関する環境学習や環境活動について、追加できるようなものがあれば入れていきたい。

(新海委員)

五つの力の丸の数やSDGsの目標ごとの事業数については、次年度から注力する領域はどこか、どの部分をどう改善したらよいかを考えるために必要である。変化がなければ、ないという結果でいいと思う。

サスティナ研究所の研究生のなかには、生物多様性に関心のある学生がいるが、その学生たちが、もりの学舎のプログラムに参加するなどの交流が今はないように思う。互いの事業やプログラムを紹介し合いながら、参加できるものに参加するしくみがあってもよいのではないか。幼稚園から大学まで参加した1人を追いかけるのは非常に難しいと思うので、交流、連携ができるといい。

(事務局)

昨年度、クリエイト部の活動報告会で、サスティナ研究所の研究生であった学生に研究所での取組を紹介してもらった。いろいろな事業間で参加者の交流、連携を図る取組をしていきたい。

(大鹿会長代理)

事業間の交流の機会を設けることで、教える側、教えられる側の学びがあるので、以前からそのような場面を作るよう言っているが、予算がないという理由でできていないと思う。

事業を立ち上げる際には大きな予算があるが、だんだん先細りになってくる。各事業を繋げるためにはプラットフォームが必要。例えば、レッツエコアクションはクリエイト部の発表の場として活用したり、SDGsエキスポにサステ

ィナ研究所の研究生に係わったりするなど、県にはいろいろなプラットフォームがあるので、それらをうまく活用すれば、限られた予算の中でももう少し工夫できると思う。

サスティナ研究所のシートを見ると、研究所活動終了後もファシリテーターがパートナー企業と接点を作っていると書いてあるが、ファシリテーターと企業が何を繋ぐのかがよくわからない。学生等をうまく繋げるような仕掛けがあるといいということ、参加企業がサスティナ研究所の後、大学生や若者と一緒に何かやっていたら紹介してもらいたい。

(事務局)

アンケート結果では、提案された解決策の採用に向けて検討したいという企業は3社あった。

研究所活動終了後、ファシリテーターが継続的にパートナー企業との接点を作っているかについては、アンケートでは見当たらない。

(新海委員)

サスティナ研究所の事務局は、その後の学生のことを把握していると思うので繋げることを考えたなら繋がられるのではないかと。各ファシリテーター、私自身も研究所のOBと繋がっていることもあるので、把握しようと思えばできるのではないかと。パートナー企業に就職した学生や、環境関連の企業に入った学生もおり、就職の選択肢になることが一つの成果であると思う。

(千頭会長)

私が企業人だったら、サスティナ研究所は優秀な学生を採用するため、明確に求人活動の一環として位置付けたいと思う。

皆さんからいくつか課題を出してもらった。特に脱炭素に向けた教育をこれからどのようにしていくかというところは、確かに大きな課題かもしれない。

イ 愛知県環境学習等行動計画 2030 のアンケートについて

(新海委員)

基本的には、前回とアンケートの項目や内容をあまり変えたくないと思うが、気候変動に関するものが少ないように感じる。NPO、幼稚園・認定こども園、事業者、市町村、PTA向けについては、設問の選択肢に入っていないように思う。今後、気候変動教育や脱炭素型社会に向けての教育の拡充が必要になると思うが、現状を把握するため聞いておいた方がよいのではないかと。

(千頭会長)

気候変動というのは、地球レベルでの気候変動について聞きたいのか、それ

とも、脱炭素、ゼロカーボンに向けて、それぞれの組織でやっている具体的な取組をさらに聞くのか。

(新海委員)

対象によっても質問する内容が違ってくると思う。例えば学校向けであれば地球温暖化とは何かという学習からも入るだろうし、地球温暖化を食いとめるための技術という領域から入るかもしれない。

企業については、省エネ・省資源についての記述はあるが、再生可能エネルギーのことは書いていない。環境に配慮した製品、サービスに含まれているということなのか。それであれば理解はできる。

(篠田委員)

気候変動やカーボンニュートラルについては、ここ5年が勝負どころで、5年を過ぎたら片がついているか、手遅れになっているかという瀬戸際である。今、関わっている人の中では、もっと力を入れないといけないという危機感がある。

(千頭会長)

事業者向けアンケートの問1の選択肢の取組は、確かに随分前から行われている。今聞くとしたら、ゼロカーボンに向けての具体的な戦略をすでに立てているのかといったものになると思う。事業者向けアンケートは、前回と比較したいということで、できる限り同じ項目で聞こうとしているが、今聞く内容として、大事なところが少し抜けているのではないかという指摘である。

(委員代理正木氏)

問1の選択肢の取組は、すでに実施していることなので、聞いてもいいと思う。カーボンニュートラルに向け、太陽光発電を導入することやCO<sub>2</sub>フリーの電力に切り換えることは、省エネとは別の次元で、各社進めていると思うので、しっかり聞いた方がいいかもしれない。

(事務局)

地球温暖化の観点をもう少し入れてもいいと思うので、それぞれの取組について皆さんのアドバイスを聞きながら、入れる方向で検討したい。

(千頭会長)

学校向け、幼稚園向け等、他のアンケートはどうか。

(大鹿会長代理)

5年前と比べたいので文言をなるべく変えたくないということだが、アンケ

ートを見ると、環境学習、持続可能、SDGsという言葉が混在している。学校の先生や普通の人が「環境学習をやっていますか」と言われたら、多分「やっていない」と答えると思う。今、SDGsは学校でやれと言われているからやっているけれど、環境学習はやっていないという捉え方になる可能性がある。そこでうまく回収できるように、補足説明を入れるといいと思う。

また、今回PTAも入っているが、小学校にアンケートをとったら、当然、小学校のPTAの内容も含まれてくると思うので、どこの違いを見たいのかわからない。普通、学校の小学校の校長等が書いたら、PTA活動も見えるとと思うが、敢えてPTAだけで取る意義を知りたい。

(事務局)

学校については、授業や課外活動について聞いて、PTAについては、学校と共働でやっている面もあるので、似通ってくるかとは思いますが、今回の行動計画に入れた地域コミュニティの1つとして聞きたいと考えている。

(篠田委員)

気候変動やカーボンニュートラルというと、再生可能エネルギーとか省電力という所に行き着くのかということ、そうではなく、一段階下げて、例えば、CO<sub>2</sub>発生の少ないカレーライスの作り方といったプログラムを作り、幼児から変えていくことが必要である。我々NPOと、企業や政府等が、それぞれの立場でやれること、やらなければいけないことがあると思う。

(松尾委員)

平成28年度からの推移を見るため、基本的には設問を変えず、事例についてはコロナ禍前のことも入れて聞くということだが、幼稚園業界でも平成28年度以降、様々な動きがある。特に人材不足だとか、どのように子供たちの安全を守り、責任をとるのかという問題もあって、外に出づらくなっている。

園内で幼児教育を展開する上でも、できる限りリスクを下げる方向にシフトしている状況がある。幼稚園向けアンケートでは、環境教育として主に自然体験について質問しているが、コロナだけではない困難性があると感じた。

(伊藤委員)

高校の立場で答えられないという設問は、特にはないと思う。言葉の解釈で誤解が生じないような配慮は必要である。

この協議会の開催要領の目的を改めて見直してみたが、何の行動計画を作るのかということ、第1条に「愛知県の自然的社会的条件に応じた環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する行動計画」とあり、「愛知県の」とついているので、広義の環境というよりも、もう少し手前の部分で捉えていくべきである。

我々が大上段に構えて、地球温暖化の解決という話ではないと思うので、もう少しローカルな視点の行動計画を作るというのが本協議会の目的だと思うので、その視点を留意しなければいけないと考える。

(千頭会長)

グローバルとローカルの話はすごく難しく、グローバルの影響がローカルにも出てくるので、なかなか切り離すことは難しい。あまり大上段にではなくて、県内のその地域の状況に応じたものというご指摘かなと思う。

学校向けのアンケートは、個々のいい事例も集めたいという狙いがあると思うがどう思うか。

(服部委員)

探究的な学習の時間の充実や、クラブ活動などで様々な取組をしているところが出てきている。学校向けアンケートの間8で、様々な事例を収集し、これを公表することにより、自分の学校もやってみようということで、特に地元を取り上げた題材は、探究の時間で非常にやりやすい。間8はどんなものが集まってくるのか見てみたい。

(委員代理伊藤氏)

授業では、理科と総合的な探究の時間の中で環境教育が主に進められるが、教えることも多いため、まだまだ進んでいないところもあるかと思うが、アンケートが学校に届くことで、環境教育を進めていかなきゃいけないというメッセージになるかと思う。我々としても学校をサポートしながら進めていきたい。

(千頭会長)

市町村向けアンケートの中には、市町村が取り組んでいることや、市町村内で頑張っている地域団体をご紹介いただきたいという思いと両面が入っていると思うが、どうか。

(北河委員)

先ほど、事務局から地球温暖化の関係も入れるとの発言があったので、特段申し上げることはない。

(早川委員)

全般的にアンケートの各問に前置きがあり、少し誘導的と感じるが、ある意味、こういうことをやって欲しいというアピールにもなるのかなと思う。

(千頭会長)

自由記述の設問では、何かいい事例、ユニークな事例をピックアップしたい

という思いがあるが、自由に書いてくださいと記載しただけでは、回答していただきにくいので、別添資料の添付や事例が記載されているWebサイトのURLを回答いただくなど、事例を集められる方法を工夫すべきである。

事務局は、各委員の意見を受けて修正案を作り、確認いただくということにしたいがどうか。

(事務局)

事務局の方で修正案を作り、各委員にご確認いただくことにしたい。

(千頭会長)

多分、環境部局が県内のPTAにアンケートを取ったことは1度もないと思う。貴重なチャンスなので、もう少し検討してみたい。

また、全体的に、令和元年度から3年度に行った取組と書いてあるが、コロナ前のことも含めて回答するよう明記しておいた方がいい。

細かく詰め切れていないが、ご意見を受けて、修正をして、それを皆様方にお送りして、再度確認いただく作業をしたい。

中間見直しはどうするのかという投げかけがあった。今日の資料では必要に応じて書いてあるが、中間見直しをする場合に全体の枠組みをどうするのか、SDGsの中でのやや広義の環境教育、環境学習をどう捉えるかを少し検討していただき、可能なら2回目の協議会で少し議論しておけば、後年度に繋がると思うので、事務局で一度検討していただきたい。

(新海委員)

幼稚園・認定こども園向けアンケートは、自然体験の質問に限定するのか。コロナ禍であると外に出かけること、自然体験がなかなかできないのではないのか。幼稚園内でのごみの分別、リサイクル、CO<sub>2</sub>に関する体験学習などもいろいろやっていると思うが、それは聞く必要がないのか。

(事務局)

いちばん最初、約10年前にアンケートをした際の調査では、幼稚園では自然体験をやっているという話であったため、これに絞った。逆にこちらからお伺いしたいのは、ごみの分別などの教育もやっているのか。

(松尾委員)

私の園では、ごみ箱が各クラス2つ用意してある。各園での取組については、掴みづらいところがある。

特に私立の幼稚園は違いがあるので、力を入れている取組は何か、という聞き方であれば、いろいろ回答が出て傾向が掴めると思う。

(千頭会長)

それでは、この設問は生かし、問6の自由記載に加えることとしたい。

(3) 閉会